

令和7年度 第1回 豊能町地域公共交通会議 議事録

日 時：令和7年6月25日（水）午前10時00分から11時03分まで

会 場：豊能町役場吉川支所 2階会議室

出席者：委員18名、箕面市担当者1名、事務局2名

（詳細は別紙「令和7年度第1回会議出席者名簿」のとおり）

傍聴者：2名

1. 開会

午前10時に開会した。

2. 《協議》地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）について

(1) 表記の事項について事務局より説明があった。

(2) 主な質疑・意見

〔委員〕 豊能西線は豊能町のみが費用負担している路線で、箕面市民の利用も限定的であることから、箕面市の地域公共交通計画に位置付ける必要がないということで間違いはないか。

〔箕面市〕 事務局の説明のとおり、当該路線の市民の利用は限定的で、箕面市の地域公共交通計画において生活路線と位置付けるものではないと考えている。

〔委員〕 参考資料2 ページ表2にあるとおり、当該事業者の乗合バス事業の経常収支は赤字であるが、運転士確保のための待遇改善、設備投資・維持管理と苦勞されている。また、キロ当たり経常費用が地域平均より高くなっており、国の補助が当たらない分は、町と事業者の負担となる。路線の維持には1週間に1回でも乗るなど協力いただく必要がある。

〔委員〕 バスの乗り継ぎ環境の改善は必要であると考えている。停留所環境の改善の予定はあるか。

〔事務局〕 具体的にはないが、今後公共施設再編の中で改善できればよいと考えている。

・以上、質疑応答の後、本事項にかかる異議の確認で、一同異議なしとなった。

3. 《報告》バス路線の減便等の状況について

(1) 表記の事項について事務局より説明があった。

(2) 主な質疑・意見

〔委員〕 利用実績はICカードの実績か。

〔事務局〕 利用実績はICカードの実績である。

〔委員〕 バスの減便で乗客数が減っているが、1便当たり乗客数が増え、効率化・経営改善はしている。デマンドタクシーの利用は増えているが、公共交通全体の利用者数としては減っている。

〔委員〕 減便・廃線が4/21に行われたが、周知が3/27からと周知期間が短いという地域の意見があった。また、デマンドタクシーの利用は増えているが、予約しないと使えず、定時定路線が必要であるという地域の意見があった。

〔委員〕 周知期間は1週間以上という規定しかない。豊中市では、基本は予約があった便の運行だが、利用の多い時間帯だけ定時定路線としている。利用が多くなると定時定路線は難しいと考える。

〔委員〕 減便・路線廃止は、影響が大きいため、できるだけ早くお知らせするよう努めているが、運転士の調整等時間がかかり、ご不便をおかけしている。利用状況は資料のとおりで、50～60人乗れるバスに10人弱と減便・路線廃止はご理解いただきたい。ダイヤ改正で1便当たり利用者は増えているが、採算はとれておらず、運転士不足もあり、さらなる見直しの対象であることをご認識いただきたい。

〔委員〕 池田方面へ行き的人数より帰りの人数が減っており、帰りの時間に合っていないことが想定され、今後考えていく必要がある。

6. その他

〔委員〕 令和6年度から運転士確保へ向けて国と協調して二種免許取得の補助を行っており今年度も継続して実施している。今年度から宿泊税を活用して、観光周遊を目的に路線バスのキャッシュレス化を進めている。また、多様な主体との連携、共創の取組みとして、学校や病院、企業のバス活用の検討を市町村とともに進めている。

〔事務局〕 運転士不足の深刻化に対して、6月補正予算で運転士確保支援を始める。近隣の市町村へも取組みを広げていきたい。

7. 閉会

・午前11時02分に閉会した。